とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	あそか保育園
日時	令和７年５月

1，活動テーマ

＜テーマ＞自然

１歳児・ダンゴムシを見て、触れてみよう

＜テーマ設定理由＞

・園庭の写真の掲示や異年齢児が捕まえたダンゴムシを見せてもらい興味を持った様子だった。保育士と一緒に探したり、見たり触れたりして興味を広げていけたらと思い、設定をした。

2，活動スケジュール

・ダンゴムシを一緒に探す。
・捕まえたダンゴムシの様子を見たり、触れたりする。

3，活動のために準備した素材や道具、環境設定

・ペットボトルを切って作った入れ物
・シャベル

4，探究活動の実践

＜活動内容＞

・ダンゴムシ探しに誘い、いそうな場所をシャベルを使って探す。
・見つけたダンゴムシを入れ物に入れて動く様子を見てみる。
・保育士の手のひらにのせ、動く様子や丸まる様子を見たり触れたりする。

＜活動中の子どもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり＞

〇ダンゴムシを見せてもらい探しに行く

保育士：「ダンゴムシ捕まえたんだって」
子ども：「ダンゴムシ、いた！」
保育士：「探しに行ってみようか？」
「どこにいるかな？ここかな？」
子ども：「いないね」言葉や仕草で伝える

保育士：「こっちにいるかな」
（マットの下の湿っている場所を探す）
「いたいた！」（入れ物に入れてみる）
子ども：「いたね」（じっと様子を見ている）

〇ダンゴムシの様子を見て

保育士：「ダンゴムシだよ」
（保育士の手のひらにのせてみる）
子ども：「おー！」（喜ぶ）「ダンゴムシ！」
子ども：「こわい」（距離をおいて見ている）

保育士：「チョンってしてみる？」
子ども：「チョン」指でつついてみて喜ぶ
保育士：「丸くなったね」（不思議そうに見る）

〇地面に落ちたダンゴムシを探して

子ども：「あった！」指でつまんでみる
（つぶさない力加減でつまむことができる）

5，振り返り

＜振り返りによって得た保育士の気づき＞

・見るだけ、触れて楽しむなど一人ひとりの興味に合わせて関わっていった。つまんだ際にはつぶさないように力の加減ができていることに驚いた。動く、丸まる様子に片言や表情で驚きや嬉しさなどを表現していたので、言葉を添えながら関わっていった。虫は興味によって触れられない子どももいるので今後は見る、触れる、集めるなどがもう少しできる素材で探究できればもっと楽しさや発見などが広がるのではないかと感じた。